

まち・ひと・しごと創生
印南町総合戦略
(第2期)

【概要版】

令和3年(2021年)3月

印南町

総合戦略の要点

まちづくりの基本理念

- 理念① 地域固有の資源を継承・発展し、「住みたい・住み続けたい」と思える「希望をもてる」郷づくりを行い、次代に引き継ぐ
- 理念② 先人への感謝、現役世代の役割と次世代育成の重要性を認識
- 理念③ 住民をはじめ、多様な主体が郷づくりに参画できるように努める
- 理念④ 時代の流れに柔軟かつ適切に対応できるよう、機動的かつ効果的な施策展開を目指す

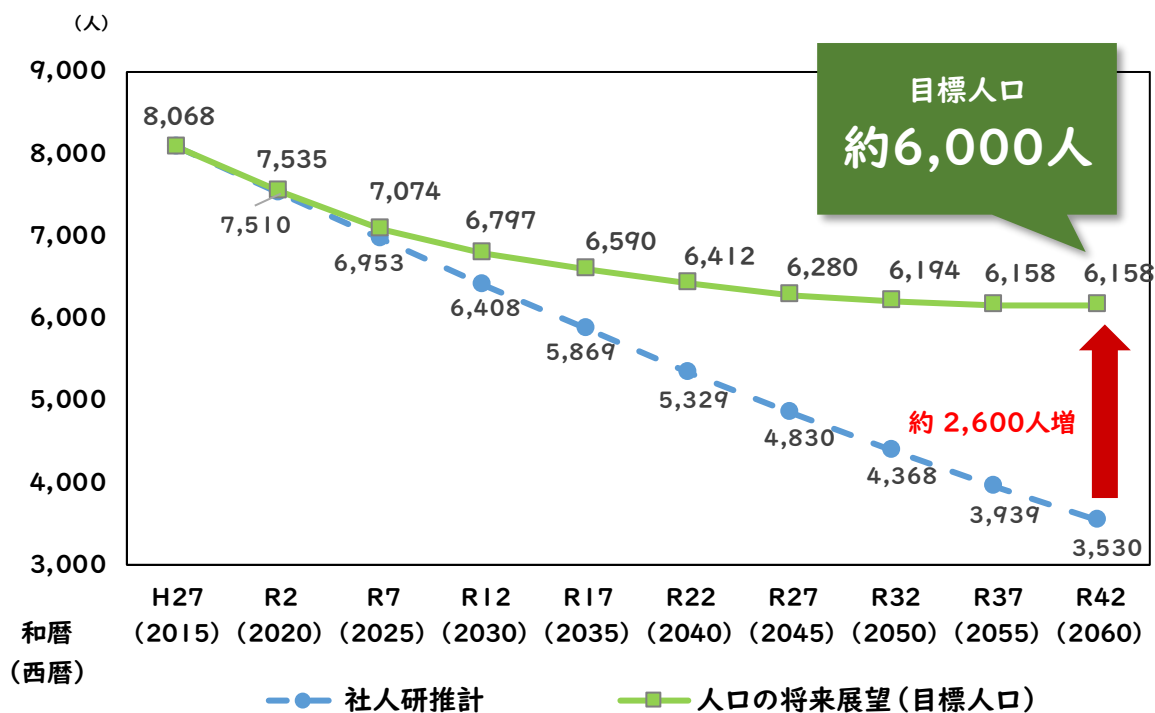
まちの将来像

「住民とともに築く、希望あふれる郷」



将来目標人口

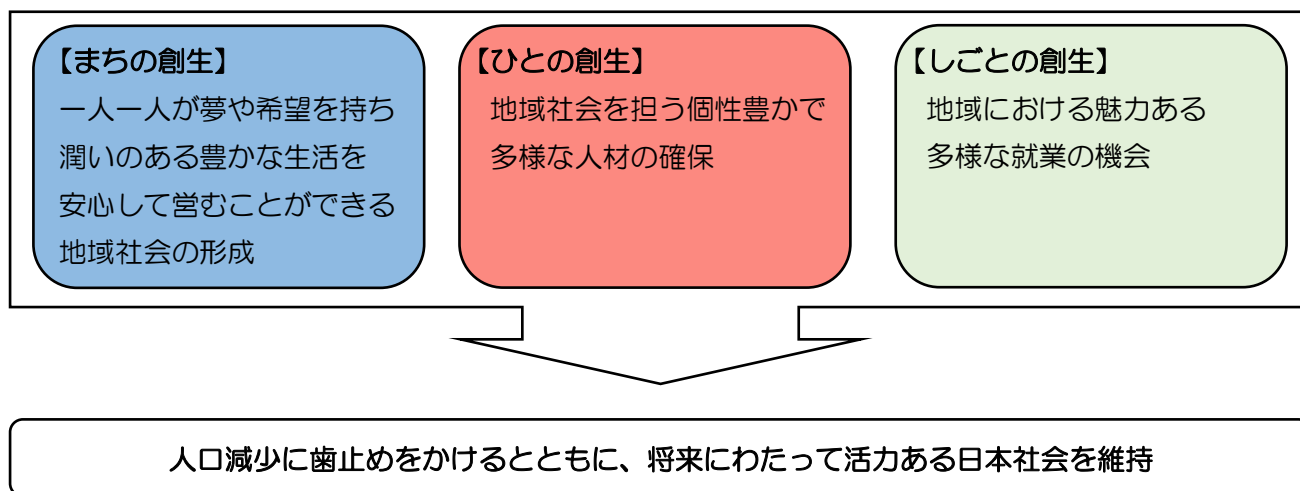
令和 42 年 (2060 年) における将来目標人口 6,000 人



(※)「社人研推計」は、国立社会保障・人口問題研究所が、平成 27 年 (2015 年) の国勢調査をもとに、推計した本町の将来人口。

まち・ひと・しごと創生

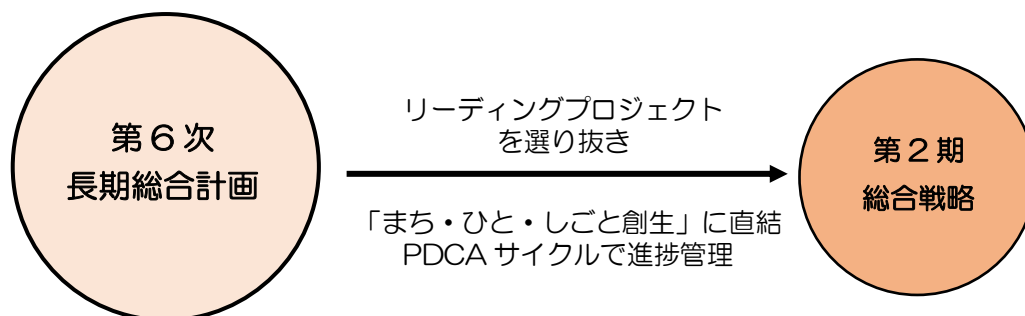
住民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる「まち」をつくり、地域を担う「ひと」を育て、生活の基盤となる「しごと」を創造することで、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持する。



総合戦略の位置づけ

「第6次長期総合計画」に示された施策のうち、特に「まち・ひと・しごと創生」に直結し、PDCAサイクルを使った進捗管理による目標達成が望まれるリーディングプロジェクト(中核的・先導的事業)を掲載。

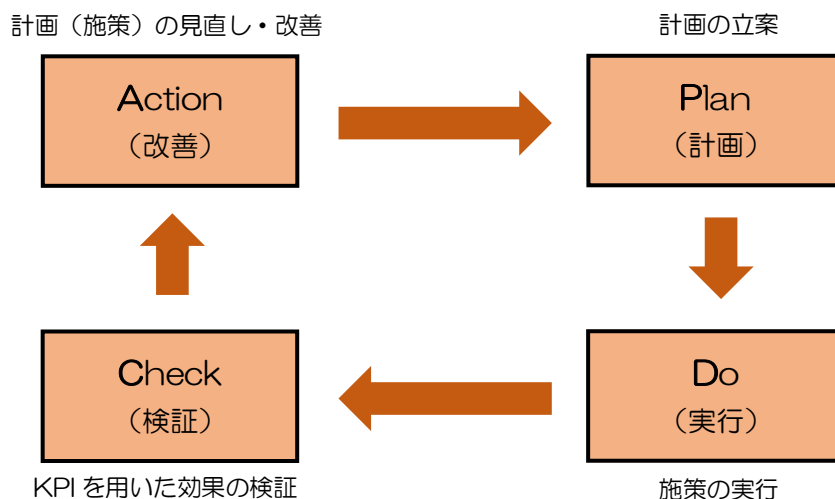
平成27年(2015年)に策定した第1期総合戦略を引き継ぎ、令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)の5年間を計画期間とする。



計画の推進体制

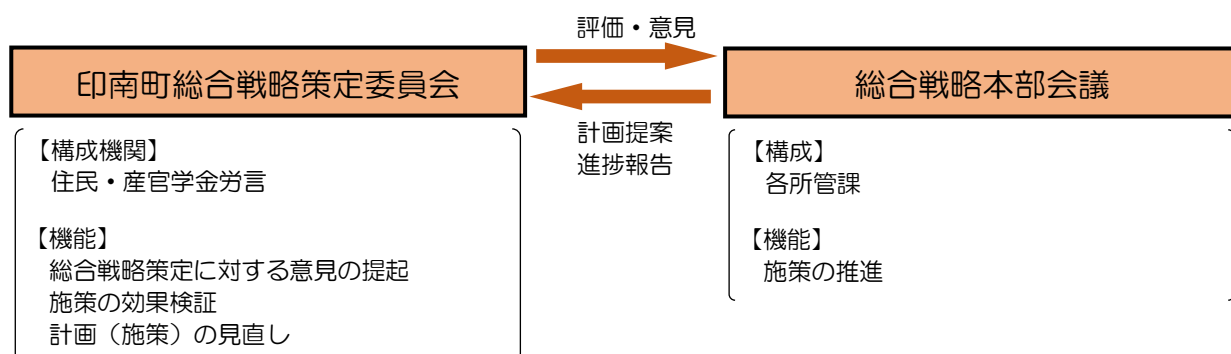
【PDCA サイクル】

具体的な施策ごとに重要業績評価指標 (KPI) を設定し、政策の効果検証・改善を行う仕組み (PDCA サイクル) を構築する。



【推進体制】

住民をはじめ、産業界、教育機関、金融機関、労働・雇用関係機関、メディアの代表者からなる「印南町総合戦略策定委員会」を設置し、幅広い層からの意見を計画推進の参考にする。



戦略の具体的施策

【まちの将来像】

「住民とともに築く、希望あふれる郷」

【目標人口】

令和42年(2060年)の目標人口は、**6,000人**(合計特殊出生率上昇 / 転入者数増・転出者数減)

【基本目標(政策の方向性)】 [計画期間：令和3(2021)～令和7(2025)年度]

基本目標① 若い世代が安定・安心・充実して働くことができるしごとの創出

- ① 農林水産業の振興
- ② 企業誘致及び企業支援
- ③ 町内資源を活かした雇用の場の創出
- ④ 多様な働き場所の確保

基本目標② 若い世代の結婚・出産・子育て・子どもの教育の希望の実現

- ① 結婚への支援
- ② 出産への支援
- ③ 子育てへの支援
- ④ 就学前教育の充実
- ⑤ 教育環境の整備

基本目標③ タウン・プロモーションによる新しい人の流れを創出

- ① タウン・プロモーション
- ② 観光資源を活用した交流拡大
- ③ 関係人口の創出
- ④ 移住・定住促進

基本目標④ 豊かな自然とくらしが調和した安全・安心の暮らしを実現

- ① 防災対策
- ② 景観・自然環境の保全
- ③ 公共施設の維持・管理

基本目標⑤ 住みたい・住み続けたいと感じられる魅力あふれるまちづくりの実現

- ① 住民参加によるまちづくり
- ② 住みやすいまちづくり
- ③ 住民の健康・福祉の実現
- ④ 人権・個性が尊重されるまちづくり
- ⑤ 生涯学習・スポーツが楽しめる環境づくり
- ⑥ 文化・歴史の発掘と継承

基本目標⑥ 新たな時代の流れを活かしたまちづくりの実現

- ① ICTスマートタウンの実現
- ② SDGsへの取り組み促進

【数値目標】

町内従業者数
2,379人 (H28年) → **2,300人** (R7年)
2018年 2025年

合計特殊出生率
1.54 (H27年) → **1.92** (R7年)
2018年 2025年

転出超過人数
34人 (R元年) → **0人** (R7年)
2019年 2025年

防災訓練の参加者数
3,000人 (R元年) → **6,000人** (R7年)
2019年 2025年

「住み続けたい」住民の割合
86.7% (R元年) → **90.0%** (R7年)
2019年 2025年

ICT機器の世帯普及率
51.3% (R元年) → **90.0%** (R7年)
2019年 2025年

【数値目標ならびに重要業績評価指標(KPI)について】

令和2年(2020年)以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人の移動は減少し、経済活動は停滞を余儀なくされた。本計画策定時(令和3年[2021年]3月)においても、先行き不透明感は強く、今後の情勢は見通しづらい状況にある。

本計画における「目標人口」、「数値目標」ならびに「重要業績評価指標(KPI)」については、コロナ禍の収束による社会・経済活動の回復を想定し、設定している。そのため、今後のコロナ禍の状況次第では、その影響を考慮した「目標人口」等を設定する必要がある。この点については、毎年度開催する印南町総合戦略策定委員会で協議を行い、その結果を踏まえて、KPI等の修正・見直しを行う。

基本目標①

若い世代が安定・安心・充実して働くことができるしごとの創生

◆数値目標◆

指標	基準値	目標値
	(H28 年 [2016 年])	(R7 年 [2025 年])
町内従業者数	2,379 人	2,300 人

◆基本的方向◆

子育て世代をはじめとする若い世代が、結婚・出産・子育て・教育の希望を実現できるよう、本町を含む御坊・日高圏域において、安定・安心・充実した雇用の場の創出を図る。

◆関連する SDGs◆



※ 全ての人が「持続可能な生活」を送るために、国連で採択された行動目標（SDGs）に対して、本町は各施策により、その達成に貢献する。

◆具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）◆

① 農林水産業の振興

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(H30 年 [2018 年])	(R7 年 [2025 年])
農業産出額	50.5 億円	55 億円

【具体的な事業】

事業名
農業・林業基盤の整備（農道・林道の整備、農地・水路の管理支援、園芸施設の整備支援等）、漁業施設等の維持管理、資源管理型漁業の推進、ICT を活用したスマート農林水産業の推進、有害鳥獣対策の推進、農業、林業、漁業の新規就業者の支援、農業、林業、漁業の後継者育成、農業経営の多角化（農業観光等）・規模拡大（販路拡大）を支援、漁業経営の多角化（加工品販売）等を支援、若手農業者との意見交換会

② 企業誘致及び企業支援

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(H26～H28 年 [2014～2016 年] 累計)	(R3～R7 年 [2021～2025 年] 累計)
新設事業所数	21 事業所	30 事業所

【具体的な事業】

事業名
テレワーク・ワーケーションの環境整備（企業誘致）、新規事業展開に係る減税制度の整備、道路等のインフラ整備、後継者確保・育成、人材確保

③ 町内資源を活かした雇用の場の創出

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(H28～H30 年 [2016～2018 年] 累計)	(R3～R7 年 [2021～2025 年] 累計)
特産品開発支援件数	14 件	15 件

※ わがまち元気プロジェクトの実績件数

【具体的な事業】

事業名
商業者の意識向上（消費者ニーズの変化等に関する研修開催）、魅力ある商業拠点の整備（特産品販売イベントの開催、印南 SA の機能拡充等）、特産品開発・販路開拓の支援、地元農産品等を活かした加工品の開発、新規創業支援

④ 多様な働き場所の確保

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R 元年 [2019 年])	(R3～R7 年 [2021～2025 年] 累計)
当該施策に関する協働事業者数	0 事業者	10 事業者

【具体的な事業】

事業名
官民協働での子育て・仕事の両立支援（時短勤務制度の拡充、職業紹介等）、いなみこども園のサービス拡充（延長保育、預かり保育等）、放課後子ども教室・学童保育のサービス拡充、副業・兼業の推進、働きがいのある仕事づくり、働きやすい仕事づくり

基本目標②

若い世代の結婚・出産・子育て・子どもの教育の希望の実現

◆数値目標◆

指標	基準値	目標値
	(H27 年 [2015 年])	(R7 年 [2025 年])
合計特殊出生率	1.54	1.92

◆基本的方向◆

結婚・出産・子育てから子どもの教育まで地域が一体となって取り組み、支援を行い、若い世代の希望を実現します。

◆関連する SDGs◆



※ 全ての人が「持続可能な生活」を送るために、国連で採択された行動目標（SDGs）に対して、本町は各施策により、その達成に貢献する。

◆具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）◆

① 結婚への支援

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年 [2019 年])	(R7 年 [2025 年])
婚姻数	21 件	25 件

【具体的な事業】

事業名
町を挙げての結婚支援（結婚サポートボランティア・相談役の育成）、民間企業が運営する仲介サービスの紹介

② 出産への支援

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年 [2019 年])	(R7 年 [2025 年])
出生数	49 人	50 人

【具体的な事業】

事業名
不妊治療に対する助成（いなみ子宝サポート事業）、妊娠から出産まで一貫した支援体制、整備（子育て世代包括支援センター事業等）、出産に要する経済的負担の軽減（妊娠健康診査費、妊婦医療費に対する助成）、出産や支援に関する情報発信の強化（広報紙、本町ウェブサイト等を通じて）

③ 子育てへの支援

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019 年度])	(R7 年度 [2025 年度])
いなみっ子交流センター 利用者数	1,047 人	2,000 人

【具体的な事業】

事業名
母子の健康増進（健診・健康相談・ママ教室）、育児支援等に関する情報発信の強化（広報紙、本町ウェブサイト等を通じて）、子ども医療費の原則無料化（高校卒業相当年齢まで） 小児科医・助産師の確保、小児科オンライン診療の推進、0～2 歳児の保育料の一部助成（国基準の半額）・3～5 歳児の副食費の無償化、いなみっ子応援隊のネットワーク充実（子育て家庭の孤立化防止）、いなみっ子交流センターの拡充（育児教室・子育てサークルの開催）、子どもの遊び場の拡充（既存公園の整備と新公園の整備）、病児・病後児保育の充実、子育て世代のための家賃支援、住民総力挙げての子育て応援（子育て世代に関する話題を住民に発信、交流イベント開催）

④ 就学前教育の充実

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019 年度])	(R7 年度 [2025 年度])
いなみこども園入園者数	248 人	250 人

【具体的な事業】

事業名
認定こども園（いなみこども園）運営補助事業等

⑤ 教育環境の整備

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019 年度])	(R7 年度 [2025 年度])
学校が楽しいと感じる 小中学生の割合	96.1 %	98.0 %

【具体的な事業】

事業名
学習支援員の配置（生徒の学習サポート）、読書力向上（学校図書館司書の配置）、英語学習と国際的視野の養成（SDGs 学習等）、人間性、社会性を高める多様な体験学習、学校運動部活動の推進、食育の充実、活気のある教育環境の整備（中学校の統合）、教職員の資質・能力向上（ICT を活用した指導教材の利用等）、校内の ICT 利用環境の整備、非常時におけるリモート教育の実施、校内施設のバリアフリー化と修繕・改修、ふるさと教育の拡充、特別支援教育の充実、放課後教育の充実

基本目標③

タウン・プロモーションによる新しい人の流れを創出

◆数値目標◆

指標	基準値	目標値
	(R元年 [2019年])	(R7年 [2025年])
転出超過人数	34 人	0 人

◆基本的方向◆

人口減少社会において、住民とともにまちづくりに参画する関係人口を創出するため、本町のPR（タウン・プロモーション）、観光振興、移住・定住促進を図る。

◆関連するSDGs◆



※ 全ての人が「持続可能な生活」を送るために、国連で採択された行動目標（SDGs）に対して、本町は各施策により、その達成に貢献する。

◆具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）◆

① タウン・プロモーション

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019年度])	(R7年度 [2025年度])
町外在住者への広報紙発送数	36 人	100 人

【具体的な事業】

事業名
大阪等での本町 PR イベントの開催、「子育てするなら印南町」の PR（SNS、絵本などを活用して）、町外に住む本町出身者への広報紙発送

② 観光資源を活用した交流拡大

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019 年度])	(R7 年度 [2025 年度])
観光客数	600,585 人	650,000 人

【具体的な事業】

事業名
観光資源の発掘・魅力度向上（印南四王子カード、駅カード、三愛物語等）、観光情報の発信強化（パンフレット・ウェブサイト・フリーWi-Fiの活用）、地域イベントの充実（印南かえるのフェスティバル、印南祭り等）、観光人材の育成とホスピタリティ（おもてなしの心）の醸成、農家民泊・遊漁船観光の推進、大学生等の合宿誘致、教育旅行の誘致推進、周辺市町と連携した広域観光の推進

③ 関係人口の創出

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019 年度])	(R7 年度 [2025 年度])
ふるさと町民の登録数	- 人	100 人

【具体的な事業】

事業名
ふるさと応援寄附金を通じたサポーター（ふるさと町民）の創出、町外で暮らす本町出身者の帰郷イベントの開催

④ 移住・定住促進

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(H20～R2 年 [2008～2020 年] 累計)	(R3～R7 年 [2021～2025 年] 累計)
移住相談後の転入人数	20 人	10 人

【具体的な事業】

事業名
東京・大阪での移住・定住相談会の開催、移住・定住希望者のワンストップ窓口の設置、東京23区からの移住者ならびに帰郷者の受け入れ促進、「ふるさとおかえり」施策の実施（本町出身者が帰郷時に要する引っ越し費用等を支援）、若者定住促進賃貸住宅等家賃助成事業、若者定住促進新築住宅等取得助成事業、お試し移住の促進、ふるさと教育の充実、地元企業への就職支援促進、宅地・住宅の供給（未来投資事業）

基本目標④

豊かな自然とくらしが調和した安全・安心の暮らしを実現

◆数値目標◆

指標	基準値	目標値
	(R元年 [2019年])	(R7年 [2025年])
「世界津波の日」 印南町 8 千人地震・津波 防災訓練の参加者数	3,000 人	6,000 人

◆基本的方向◆

豊かな自然とくらしの調和を図るため、景観・自然環境の保全を進めるとともに、安全・安心のくらしを実現するため、防災対策・公共施設の維持管理を進める。

◆関連する SDGs◆



※ 全ての人が「持続可能な生活」を送るために、国連で採択された行動目標（SDGs）に対して、本町は各施策により、その達成に貢献する。

◆具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）◆

① 防災対策

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019年度])	(R7年度 [2025年度])
避難訓練参加率	26 %	40 %

【具体的な事業】

事業名
地震や台風等に強い道路・橋梁の整備（ドローン等を活用した点検事業）、消防団の充実（資機材の適正管理、消防団の組織の再編、消防力の向上）、消防水利の整備と充実、南海トラフ巨大地震・津波対策の推進、福祉保健施設、教育施設等の公共施設の高台移転、避難道路、避難施設、避難誘導灯の整備、印南避難センター・事前避難所の整備、住宅耐震化促進事業、いなみ防災広場の整備（印南 SA 北側に建設予定）、災害情報の収集・伝達体制の整備（防災行政無線、防災ネットワークカメラ、ドローン等の整備）、地域ぐるみでの自主防災体制づくり（防災講習会、全町的な防災訓練の実施）、ハザードマップの作成（更新）、防災用備蓄資材の充実（ICT を活用した「防災の見える化」の推進等）、危険箇所の整備（ブロック塀、空き家、支障木等）、多様な災害への対策拡充（風水害、ため池決壊、感染症等との複合災害への対策）

② 景観・自然環境の保全

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	（ R元年度 [2019 年度] ）	（ R7 年度 [2025 年度] ）
合併処理浄化槽設置基準 整備事業補助金申請件数	25 基	35 基

【具体的な事業】

事業名
遊休農地等の防止と活用（農地バンク事業等）、山林の保全と活用（治山事業）、合併処理浄化槽の設置推進（合併処理浄化槽設置整備事業補助金制度）、生活排水の排出抑制（啓発活動） ごみの減量化・リサイクルの推進、廃棄物処理の適正化、脱炭素社会・循環型社会の構築（公共施設の省エネ化、再エネ活用、3R 運動、脱プラ推進）、環境保護意識の啓発、無秩序な開発防止と持続的な産業活動の普及啓発、環境美化運動・美しい景観づくり・河川/海岸の美化、公害防止（事業活動の監視、廃棄物不法投棄の監視）

③ 公共施設の維持・管理

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	（ R元年度 [2019 年度] ）	（ R7 年度 [2025 年度] ）
学校施設跡地等における 有効活用率	80 %	90 %

【具体的な事業】

事業名
公共施設の維持管理と学校跡地の有効活用、防災広場の有効活用、先端技術を活用した町有地の管理（ドローンによる山地管理等）、住民との協働による公園・広場等の適正管理、老朽化した上水道施設等の整備

基本目標⑤

住みたい・住み続けたいと感じられる魅力あふれるまちづくりの実現

◆数値目標◆

指標	基準値	目標値
	(R元年 [2019年])	(R7年 [2025年])
住み続けたい町民の割合	86.7 % (※)	90.0 %

※ 令和元年度（2019年度）実施の町民アンケート（対象：19歳以上）より

◆基本的方向◆

住民の暮らしやすさの向上を目指して、健康・福祉の増進、余暇の充実を図ります。また、住民の声をまちづくりに活かし、住民主体のまちづくりを実現する。

◆関連するSDGs◆



※ 全ての人が「持続可能な生活」を送るために、国連で採択された行動目標（SDGs）に対して、本町は各施策により、その達成に貢献する。

◆具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）◆

① 住民参加によるまちづくり

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019年度])	(R7年度 [2025年度])
大学との連携イベントへの参加者数	50 人	100 人

【具体的な事業】

事業名
住民参加行政の推進（住民協議会の開設、町民アンケートの実施等）、大学生と地元住民の連携推進（県内外の大学との協働によるまちづくり）、広報公聴活動の推進（広報紙・未来メールの活用、新規施策に関する情報発信、ICT を活用した行政情報の発信）、コミュニティ活動の推進（区長会、ボランティア団体等の支援）

② 住みやすいまちづくり

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(H20～R2 年 [2008～2020 年] 累計)	(R3～R7 年 [2021～2025 年] 累計)
空き家バンク契約件数	35 件	15 件

【具体的な事業】

事業名
国道・県道の整備促進（国道 425 号、県道日高印南線、県道田辺印南線の整備促進）、高速道路の整備・利便性の向上、公共交通機関の利便性向上（御坊市内へのアクセス・回遊性向上、コミュニティバス運営）、自動運転技術を活用した交通利便性向上の検討、町営住宅の管理と整備、町内の上水道水源の確保

③ 住民の健康・福祉の実現

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R 元年度 [2019 年度])	(R7 年度 [2025 年度])
特定健診受診率	39.1 %	50.0 %

【具体的な事業】

事業名
健康自己管理の推進（健診推進、運動習慣の定着支援等）、生活習慣病予防の推進 介護予防事業の推進、在宅医療の推進、医療サービスの利便性向上（オンライン診療の推進、通院の利便性向上）、社会福祉協議会活動の支援、地域福祉の意識醸成と活動の支援（民生児童委員、更生保護女性会、見守り隊の支援）、多様な福祉ニーズへの対応（ひとり親家庭、ひきこもり、就職氷河期世代、外国人の支援）、福祉サービスの利便性向上、地域包括支援センター事業、生活支援コーディネーター事業、在宅介護支援、介護人材の確保、高齢者の生活支援（いきいきサポート券事業）、高齢者の見守り、高齢者の生きがいづくり（高齢者サロン、印南シニア学園、老人クラブ等の支援）、バリアフリー化の推進、障害児の支援体制の整備・充実、障害者（児）の社会参加の促進、障害の原因となる疾病等の予防・早期発見

④ 人権・個性が尊重されるまちづくり

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	（ H30 年度 [2018 年度] ）	（ R7 年度 [2025 年度] ）
人権福祉講演会参加者数	463 人	500 人

【具体的な事業】

事業名
人権意識の高揚と啓発、人権権学習の推進、高齢者・児童虐待等防止対策の充実、女性の社会参加の促進、男女平等意識の確立、女性が働きやすい環境の整備（雇用における女性差別の排除等）

⑤ 生涯学習・スポーツが楽しめる環境づくり

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	（ R 元年度 [2019 年度] ）	（ R7 年度 [2025 年度] ）
体育館利用者数	11,311 人	13,000 人

【具体的な事業】

事業名
生涯学習機会の拡充と情報の充実、学習グループ・指導者の育成、生涯学習施設の整備（公民館やコワーキングスペースの整備）、読書のまちづくりの推進（ブックスタート事業、公民館図書室の充実）、公民館活動の充実、運動する機会の拡充と関連情報の充実（体操教室等の開催）、スポーツが楽しめる施設・場所の整備（町立運動場・体育センター等の整備）、スポーツ団体の支援・指導体制の充実、スポーツイベントの開催・支援（マラソン大会の開催、スポーツイベントの誘致）

⑥ 文化・歴史の発掘と継承

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	（ R 元年度 [2019 年度] ）	（ R7 年度 [2025 年度] ）
指定文化財数	28 件	30 件

【具体的な事業】

事業名
伝統文化・歴史に関する研究活動の支援（印南町文化協会[歴史文化]の活動支援）、伝統文化・歴史に関する情報発信、伝統文化・歴史に関する学習機会の提供、伝統文化の継承と保存（指定文化財の保存、祭事等への児童・生徒の参加機会の拡充）、文化サークル活動の支援、文化活動の発表の場の拡充（秋の文化祭等）

基本目標⑥

新たな時代の流れを活かしたまちづくりの実現

◆数値目標◆

指標	基準値	目標値
	(R元年 [2019年])	(R7年 [2025年])
ICT 機器の世帯普及率	51.3 %	90.0 %

※ ここでのICT 機器はパソコン、タブレット、スマートフォンを指す。

◆基本的方向◆

AI 等により地域課題の解決が図られる社会「Society 5.0」の実現が現実になりつつある中で、ICT 等の先端技術の活用や SDGs（世界の持続可能な開発目標）といった新たな時代の流れに沿ったまちづくりを進める。

◆関連するSDGs◆



※ 全ての人が「持続可能な生活」を送るために、国連で採択された行動目標（SDGs）に対して、本町は各施策により、その達成に貢献する。

◆具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）◆

① ICT スマートタウンの実現

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	(R元年度 [2019年度])	(R7年度 [2025年度])
行政サービスの申請手続きに関するデジタル化率	10 %	80 %

【具体的な事業】

事業名
情報通信基盤（クラウド・コンピューティング、5G ネットワーク等）の整備と充実、情報通信機器の普及促進（パソコン・タブレット端末等の購入支援）、町内フリーWi-Fi の整備、行政のデジタル化の推進（行政手続きのオンライン化、マイナンバーカード活用等）、デジタル人材の育成

② SDGs への取り組み促進

【重要業績評価指標（KPI）】

指標	実績値	目標値
	（ R元年度 [2019 年度] ）	（ R7 年度 [2025 年度] ）
関連する SDGs ターゲット数	-	30

【具体的な事業】

事業名
本町と関連性の高い SDGs ターゲット達成への貢献、SDGs において重視される問題解決手法（バックカスティング等）の活用